



参天製薬株式会社

2007年度 第3四半期決算
カンファレンスコール説明資料

2008年1月30日
参天製薬株式会社



参天製薬株式会社

2007年度 第3四半期 連結業績概要

執行役員 計画・統制本部長
納塚 善宏



連結業績概要

(単位：億円)

	2006年度 第3四半期 実績	2007年度		
		第3四半期 実績	増減額	増減率
売上高	777	792	15	2.0%
営業利益	184	166	▲ 18	▲ 9.7%
経常利益	186	170	▲ 16	▲ 8.3%
当期純利益	118	107	▲ 11	▲ 9.3%



販売部門別 売上高 / 海外売上高

●販売部門別 売上高

(単位：億円)

	2007年度 第3四半期実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	632.8	0.7%	100.4	19.2%	733.2	2.9%
眼科薬	555.8	0.4%	99.2	20.9%	655.0	3.0%
抗リウマチ薬	75.1	3.3%	1.0	▲ 37.1%	76.2	2.3%
その他医薬品	1.8	▲ 2.6%	0.1	▲ 71.3%	2.0	▲ 16.5%
一般用医薬品	42.2	4.6%	0.1	▲ 33.0%	42.3	4.4%
医療機器	3.1	▲ 20.5%	0.1	▲ 9.9%	3.2	▲ 20.1%
その他	4.4	4.0%	9.5	▲ 40.3%	14.0	▲ 31.0%
合計	682.6	0.8%	110.2	9.6%	792.9	2.0%

●海外売上高

(単位：億円)

	2006年度 第3四半期 実績	2007年度 第3四半期実績		
		第3四半期 実績	増減額	増減率
欧州	49.7	63.1	13.4	27.0%
北米	15.8	11.9	▲ 3.9	▲ 24.5%
アジア	34.7	35.1	0.4	1.1%
その他	0.3	0.1	▲ 0.2	▲ 69.0%
合計	100.6	110.2	9.6	9.6%

S 連結売上高：増減要因

2006年度
第3四半期実績
売上高
777.6億円

+15.3億円

2007年度
第3四半期実績
売上高
792.9億円

国内 + 5.6億円

[増収要因]

- + 医療用眼科薬 + 2.0億円
- + 抗がん剤 + 2.3億円
- + 一般用医薬品 + 1.8億円

[減収要因]

- + 医療機器 ▲ 0.8億円

海外 + 9.6億円

[増収要因]

- + 欧州 +13.4億円
- + アジア + 0.4億円

[減収要因]

- + 北米 ▲ 3.9億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 7.0億円
- + 角膜 + 10.5億円
- + アルギン ▲ 2.6億円
- + 粘弾性物質 + 3.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 +13.4億円
 - + うち、ロシア + 4.6億円
 - + うち、北欧 + 3.5億円
 - + うち、ドイツ + 1.4億円

北米

- + 医療用眼科薬 +2.5億円
- + 受託製造 他 ▲6.3億円



損益計算書 要約差異 (1)

(単位：億円)

	2006年度 第3四半期 実績	2007年度		主な増減要因
		第3四半期 実績	増減	
売上高	777	792	15	
売上原価 (対売上高比率)	272 35.1%	278 35.1%	6 ▲ 0.0 ppt	
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	320 41.1%	347 43.9%	27 2.9 ppt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	226 29.1%	250 31.6%	24 2.5 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・国内 販売費等 増加 (+11億円) ・アジア 販売費増加 (+3億円) ・欧州 販売費増加 (+7億円)
研究開発費 (対売上高比率)	93 12.1%	97 12.3%	4 0.2 ppt	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障関連 (+1.5億円) ・網膜関連 (+2億円)
営業利益 (対売上高比率)	184 23.8%	166 21.0%	▲ 18 ▲ 2.7 ppt	



損益計算書 要約差異 (2)

(単位：億円)

	2006年度 第3四半期 実績	2007年度		主要項目および主な増減要因
		第3四半期 実績	増減	
営業外収支	2	4	2	
営業外収益	7	9	2	[06/12] 受取利息等 (3億円) 雑収入等その他 (3億円) [07/12] 受取利息等 (4億円) 雑収入等その他 (4億円)
営業外支出	5	5	0	[06/12] 支払利息 (1億円) のれん償却費 (2億円) 為替差損 (2億円) [07/12] 為替差損 (4億円)
経常利益	186	170	▲ 16	
特別損益	2	2	0	
特別利益	2	2	0	[06/12] 固定資産処分益 (2億円) [07/12] 投資有価証券売却益 (2億円)
特別損失	0	0	0	
税引前当期純利益	188	172	▲ 16	
法人税等	69	65	▲ 4	税率 [06/12] 37.0% [07/12] 37.6%
当期純利益	118	107	▲ 11	

<為替レート>

	2006年度	2007年度
US\$	115.96円	117.37円
Euro	146.48円	162.33円



所在地別セグメント情報

【売上高】

(単位：億円)

	2006年度 第3四半期実績	2007年度	
		第3四半期実績	増減額
日本	705	711	6
欧州	66	75	9
うち欧州	50	64	14
うち米国	15	11	▲ 4
その他 ※1	5	5	0
合計	777	792	15

【営業利益】


(単位：億円)

	2006年度 第3四半期実績	2007年度	
		第3四半期実績	増減額
日本	192	183	▲ 9
欧州	7	4	▲ 3
うち欧州	0	0	0
うち米国	7	5	▲ 2
その他 ※1	▲ 4	▲ 5	▲ 1
消去	▲ 11	▲ 14	▲ 3
合計	184	166	▲ 18

※1 その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです

売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります




貸借対照表

(単位：億円)

	2007年3月末		2007年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,008	63.4%	1,037	64.9%	29
固定資産	582	36.6%	558	35.0%	▲23
繰延資産	0	0.0%	2	0.1%	1
資産合計	1,590	100.0%	1,598	100.0%	7
流動負債	223	14.0%	253	15.9%	30
固定負債	80	5.1%	28	1.8%	▲52
負債合計	304	19.1%	282	17.7%	▲22
純資産合計	1,286	80.9%	1,316	82.3%	29
負債純資産合計	1,590	100.0%	1,598	100.0%	7

【主要変動科目】

- 流動資産：現預金 +15億円、受取手形及び売掛金 +29億円、有価証券 ▲15億円
- 固定資産：投資有価証券 ▲21億円
- 流動負債：一年以内返済予定の長期借入金 +50億円、未払法人税等 ▲16億円
- 固定負債：長期借入金 ▲51億円
- 純資産：〔増加要因〕 四半期（当期）純利益 +107億円
〔減少要因〕 配当金 ▲65億円、有価証券評価差額金 ▲16億円



キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：億円)

	2007年度 第3四半期 実績	主要項目
現金等 期首残高	498	
現金等 増減額	11	
営業活動による キャッシュ・フロー	91	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前四半期純利益 172 ・減価償却費 34 ・売上債権の増減額 ▲28 ・たな卸資産の増減額 ▲5 ・法人税等の支払額 ▲76
投資活動による キャッシュ・フロー	▲17	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の償還 10 ・固定資産の取得 ▲24 ・投資有価証券の取得・売却(Net) ▲4
財務活動による キャッシュ・フロー	▲63	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金の支払額 ▲63
現金等の換算 差額	1	
現金等 期末残高	509	

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金・預金とは一致しません



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)

	2006年度	2007年度	
	第3四半期実績	第3四半期実績	増減額
設備投資額	18	22	+ 4
減価償却費	22	24	+ 2
リース料	7	7	±0

設備投資 2007年度 第3四半期 主要項目

- 中国での工場建設
- 製造設備の改造
- 研究開発用機器の更新 など



参天製薬株式会社
2007年度 第3四半期

新製品開発の現状

2008年1月30日

常務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明

(見通しに関する注意事項)

新薬の研究開発から承認・発売までは非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可などの不確実性を多く含みます。当社が開発中の新薬あるいは追加効能・剤型等について、販売・製造の許可がおりるかどうか、あるいはいつ承認を得ることができるかを確実に予測することはできません。

新薬に関わる見通しを実現できるかどうかは、様々な要素の影響を受けます。例えば、承認審査の遅れ、臨床試験データが競合品に対し有意差を示さない、安全性や効能に関する懸念、予期せぬ副作用、開発中止や発売時期の遅延などは、新薬開発に影響を与えることをご承知おき下さい。



主要臨床プロジェクトの現状(眼科) DE-085

● DE-085 (緑内障・高眼圧症)

地域	開発段階	備考
日本	製造販売承認申請	申請時期：2006年7月
欧州	製造販売承認申請	申請時期：2007年4月
米国	今後事業化を踏まえた上、申請するかどうかを決定する予定	



主要臨床プロジェクトの現状(眼科) DE-089

●DE-089 (ドライアイを含む角結膜上皮障害)

地域	開発段階	備考
日本	P3進行中 *	申請予定 : 2008年度2Q

* 比較試験終了、長期投与試験実施中



主要臨床プロジェクトの現状

－角結膜疾患(ドライアイを含む)－

コード番号	地域	効能	開発段階	備考
DE-099	日本	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	P2	一般名： ゲファルナート
DE-101	米国	角結膜上皮障害 (ドライアイを含む)	P2	一般名： リボグリタゾン
DE-103	日本	アレルギー性 結膜炎	P2	PDE4阻害剤

主要臨床プロジェクトの現状 — 緑内障・高眼圧症 —

コード番号	地域	開発段階	備考
DE-092	欧州	P2パイロット試験	一般名:オルメサルタン
DE-090	日本	P2	一般名:塩酸ロメリジン
DE-104	米国	P1(P2準備中)	ROCK阻害剤
	日本	(P2準備中)	

主要臨床プロジェクトの現状 -リウマチ・網膜-

コード番号	地域	効能	開発段階	備考
DE-098 *	日本 欧州	関節リウマチ	P1/2a	抗APO-1抗体
DE-102	日本	糖尿病黄斑浮腫	P1/2a	ステロイドDDS

* Argense社に導出。国内販売権、海外開発販売権は当社保有
なお、DE-096は製剤改良中のため、臨床PJ一覧より一旦削除